

第49回NHK杯全国高等学校放送コンテスト

(第39回長野県大会)

NHK長野放送局、若里市民文化ホール中会議室

2002年 6月 8日(土) 公開審査 ドキュメント部門(テレビ、ラジオ)
創作ドラマ部門 (テレビ、ラジオ)
研究発表部門

6月 9日(日) 公開審査 アナウンス部門
朗読部門

長野県高等学校視聴覚教育研究会

もくじ

役員日程表	1
審査員・役員一覧	2
生徒日程表・諸注意	3
引率顧問への連絡	4
第27回全国高総文祭放送部門参加要領(案)	6
第49回 NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会審査要項	8
第49回 NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会開催要項	11
エントリー作品・氏名一覧表	
アナウンス部門	13
朗読部門	14
准的翻逸部門、泌翻逸部門、 創作准的紫部門、創作泌紫部門	
研究発表部門	15
第49回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会参加校一覧	16
放送委員会・放送クラブ(部)顧問名簿(平成14年度)	17

役員日程表（敬称略）

6月 8日（土）番組部門公開審査

9:00～	委員集合、会場準備、受付準備
9:30～10:00	受付（長野西高校生徒、北澤、浅井） [長野市若里市民文化ホール2F中会議室入口]
9:30～9:50	審査打ち合わせ会議（進行 寺島） [NHK会議室]
10:00～10:20	開会行事（進行 寺島） [長野市若里市民文化ホール2F中会議室] 1．高視研挨拶（千葉俊彦高視研会長） 2．NHK挨拶（金野正人NHK長野放送局放送部長） 3．昨年度最優秀校楯返還・レプリカ授与（千葉俊彦高視研会長） 4．審査員紹介（伊藤） 5．諸注意（伊藤）
10:20～12:30	テレビ部門（翻逸）一般公開、審査 [長野市若里市民文化ホール2F中会議室] （翻逸）一般公開 [夙 8飯把] ラジオ部門 （紫） 審査室 [NHK会議室]
12:30～13:00	ラジオ部門審査会議 統括(寺島) [NHK会議室]
12:30～13:30	昼食（弁当） 研究発表準備 [長野市若里市民文化ホール2F中会議室]
13:30～14:30	研究発表部門 一般公開、審査 ["] テレビ部門（紫） 一般公開、審査 ["]
14:30～15:00	テレビ部門審査会議 統括(上野) [NHK会議室]
15:00～15:30	審査講評 テレビ番組、研究発表部門（中山茂夫NHK長野放送局制作副部長） ラジオ番組部門（金野正人NHK長野放送局放送部長） [長野市若里市民文化ホール2F中会議室]
15:30～	明日の準備 専門委員・生徒

6月 9日（日）アナウンス、朗読部門公開審査（公開審査：長野市若里市民文化ホール2F中会議室）

9:00～	委員集合、会場準備、受付準備
9:30～10:00	受付（長野西高校生徒、北澤、宮島） [長野市若里市民文化ホール2F中会議室入口]
9:30～9:50	審査打ち合わせ会議（進行 宮崎） [長野市若里市民文化ホール2F第4会議室]
10:00～10:10	審査員紹介、諸連絡（伊藤）
10:20～12:00	朗読部門 一般公開、審査
12:00～13:00	昼食（弁当）
12:00～12:30	顧問会 [長野市若里市民文化ホール2F第4会議室]
13:00～14:00	アナウンス部門 一般公開、審査
14:00～14:30	進歯・朗読審査会議 統括(金井) [長野市若里市民文化ホール2F第4会議室]
14:30～15:00	審査講評 進歯 朗読部門（石井裕NHK長野放送局進歯 副部長）
15:00～15:30	閉会行事（進行：宮崎） 1．審査結果発表（伊藤） 2．表彰（千葉俊彦高視研会長） 3．模範朗読（アナウンス・朗読最優秀受賞者） 4．高視研挨拶（千葉俊彦高視研会長） 5．NHK挨拶（石井裕NHK長野放送局進歯 副部長） 6．連絡（伊藤）
15:30～	全国大会出場手続き（北澤・伊藤）会場片づけ（委員・生徒）

第49回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会審査員・役員

(敬称略)

第49回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会審査員・役員 (敬称略)

審査委員長 長野県高視研放送専門委員長 伊藤光宏

副審査委員長 長野県高視研放送専門副委員長 寺島 彰・宮崎 潤

6月 8日(土)番組・研究発表部門審査員(公開審査)

《テレビ番組、研究発表部門》

A : 中山茂夫 (NHK長野放送局制作副部長)

B : 矢部義徳 (NHK長野放送局制作デスク)

C : 上野正勝 (統括)

D : 小山 寛

E : 金井貞徳

F : 三枝健司

G : 池田勇人

計測・進行 : 原 昌彦

《ラジオ番組部門》

A : 金野正人 (NHK長野放送局放送部長)

B : 石井 裕 (NHK長野放送局アナウンス副部長)

C : 寺島 彰 (統括)

D : 林 直哉

E : 横川 哲

F : 六川雄一

G : 西林昭隆

計測・進行 : 浅井俊樹

・技術 : NHK長野放送局、宮崎 潤

集計・賞状 : 斉藤俊樹、伊藤光宏 記録(写真撮影) : 北澤弘昭

6月 9日(日)朗読、アナウンス部門審査員(公開審査)

A : 石井 裕 (NHK長野放送局アナウンス副部長) G : 浅井俊樹

B : 高村麻代 (NHK長野放送局審議) H : 林 直哉

C : 金井貞徳 (統括) I : 西林昭隆

D : 池田勇人 J : 三枝健司

E : 六川雄一 K : 小山 寛

F : 寺島 彰

計測・進行 : 横川 哲、原 昌彦

・技術 : NHK長野放送局 集計・賞状 : 宮島和昭、宮崎 潤、伊藤光宏

記録(写真撮影) : 北澤弘昭 0番生徒 長野西高校生徒

生徒日程表

6月 8日(土) 番組部門公開審査

9:00～ 9:30	準備	[長野市若里市民文化ホール2F中会議室]
9:30～ 10:00	受付	[長野市若里市民文化ホール2F中会議室入口]
10:00～ 10:20	開会行事	高視研挨拶、NHK挨拶、昨年度最優秀校楯返還・レプリカ授与、諸注意 [長野市若里市民文化ホール2F中会議室]
移重・準備		
テレビ部門	[長野市若里市民文化ホール2F中会議室]	ラジオ部門 [NHK 奥 8楼]
10:20～ 12:30	翻読 部門審査	10:30～ 12:30 翻読 紫 審査
12:30～ 13:30	昼食 研究発表準備	12:30～ 昼食
13:30～ 14:30	研究発表・紫 部門審査	
15:00～ 15:30	ラジオ部門、テレビ部門、研究部門講評	
15:30～	片づけ、明日の準備	

6月 9日(日) アナウンス、朗読部門公開審査

[長野市若里市民文化ホール2F中会議室]

9:30～ 10:00	受付	[長野市若里市民文化ホール2F中会議室入口]
10:00～ 10:10	審査員紹介、諸連絡	
10:20～ 12:00	審査 朗読部門	一般公開
12:00～ 13:00	昼食、顧問会 [長野市若里市民文化ホール2F第4会議室]	
13:00～ 14:00	審査 進歯 部門	一般公開
14:30～ 15:00	審査講評 朗読・進歯 部門	
15:00～ 15:30	閉会行事 審査結果発表、表彰、模範朗読、挨拶、連絡	
15:30～	全国大会出場手続き	

諸注意

1. 本年度第1日目の会場が長野市若里市民文化ホールとNHK長野放送局とになりますので、会場間を移動するときは事故に遭わないよう交通に十分注意してください。
2. 全日程を良識ある行動で過ごし、大声で騒ぐなど放送の邪魔をしないでください。
3. 日程内の行動は一切指示に従い、勝手な行動をとらないようにしてください。
4. 放送局内を勝手に歩き回らないでください。
5. 昼食は決められた場所で食べ、NHK1Fレストランの営業妨害にならないようにしてください。
6. 審査中について
 - 静粛を保つこと。携帯電話、ポケベル等の電源は切っておいてください。(静粛を保てない場合は退場を命ずる場合がある)
 - 写真撮影は一切厳禁とします。(昼休みを利用してください)
- <アナウンス・朗読部門>
 - 5人ずつ前に出て、進行係の先生の指示に従ってください。
 - 机に入退席するときに礼はしない。進行係の先生は特に合図を送らないので準備ができたからアナウンス(朗読)を始めてください。
 - 机上には録音のためのマイク器具類は一切置かないこと。また、機器のON、OFFも発表の途中で行わない。
7. 全国大会出場者、出場校の学校代表者は、全日程終了後残って指示を受けてください。なお、その際に全国大会参加費が必要になるので持ってきてください。

第49回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会引率顧問の先生への連絡

本日は生徒の引率お疲れさまです。日頃は、当コンテストにつきましてご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。校内放送活動の一層の推進のためにも、今後とも貴校生徒の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

[連絡事項]

1. 放送委員会・クラブの顧問会を開きたいと思います。6/9(日)12:00に長野市若里市民文化ホール2F第4会議室へお集まり下さい。
内容：SBC杯についての連絡、NHK杯についての意見、県よりのCM依頼について、その他
2. 各部門の審査については、別頁NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会審査要項に基づいて、公正に行っています。最優秀は、研究発表部門、ラジオドキュメント部門、テレビドキュメント部門、創作ドラマラジオ部門、創作ドラマテレビ部門、アナウンス部門、朗読部門の7部門です。
3. 7月に実施される全国大会には、最大で研究発表部門2校、アナウンス部門6人、朗読部門6人、ラジオドキュメント部門4作品、テレビドキュメント部門4作品、創作ドラマラジオ部門2作品、創作ドラマテレビ部門2作品を推薦します。ただし、研究発表部門と番組部門は1部門1校1作品が推薦対象となります。
4. 全国大会に推薦された学校は次の基準に従って、別紙にて放送専門委員会事務局まで報告して下さい。
 1. 引率職員の県教委への報告は2名までとする。
 2. 県教委申請時の宿泊数は、どの部門も最大3泊までとする。
5. 全国大会参加のための県教委からの交付金については、全国大会終了後に高視研事務局より次のように配分補助されます。
 - ・研究発表部門（発表に必要な人数最大3名まで）
 - ・ラジオドキュメント部門（一作品につき2名まで）
 - ・テレビドキュメント部門（一作品につき2名まで）
 - ・創作ドラマラジオ部門（一作品につき2名まで）
 - ・創作ドラマテレビ部門（一作品につき2名まで）
 - ・アナウンス部門（発表者本人とマネージャーの2名まで）
 - ・朗読部門（発表者本人とマネージャーの2名まで）以上、宿泊数は3泊とし、同一高等学校でアナウンス、朗読の両部門に出場する場合は、マネージャーは1名のみとする。
(注意)旅費の補助は人数、日数とも上記基準を最大限とし、各高等学校への補助は、当初の別紙報告による実日数と実人数で計算します。
6. 第21回SBC杯高等学校新人放送コンテストは12月14日(土)、15日(日)に実施する予定で検討中です。募集内容については第26回全国高総文祭放送部門参加要領(案)に沿って以下のように検討中です。
 - ・アナウンス部門
短歌、詩、俳句などの内容を含んだ話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿とします。発表時間は、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。
 - ・朗読部門
郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とする。発表時間は、学校名・氏名・作者名・作品名を含めて2分以内とします。
 - ・オーディオピクチャー(A.P)部門
詩、短歌、俳句などに関連した内容とします。カセットテープによるステレオ音声とスライド(枚数は自由)を併用する作品とします。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。発表時間は5分以内とします。
 - ・ビデオメッセージ部門
内容、手法は、自由とする。自校オリジナルのビデオ作品とする。発表時間は5分以内とします。
 - ・テレビ番組フリー部門
題材・内容とも自由(アニメ・CM・ドラマ・その他まったくのフリー)。時間は10分前後で1~2分でもよい。テープ規格はビデオメッセージ部門に同じ。各部門とも、ほかのコンクール等に参加していないものとします。

参加費は、1人(1作品)1000円です。今から準備をして是非ご参加下さい。

7.今年度の日程は以下の通りです。

月 日	内 容
4月27日(土)	第42長野県高等学校校内放送講習会(長野西高校)
5月29日(水)	第39回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会応募締め切り
6月 8日(土)	第39回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会
6月 9日(日)	"
6月28日(金)	第49回NHK杯全国高校放送コンテスト推薦締め切り
7月23日(火)	第49回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
~25日(木)	" 刺 掘 堀 、 決勝NHKホール
8月10日(土)	第26回全国高等学校総合文化祭(川崎市教育文化会館)
~11日(日)	"
10月18日(金)	平成14年度第41回高視研大会 (榑 百 、 須坂、須坂東、須坂商業)
11月 1日(金)	第9回長野県高等学校総合文化祭(長野県民文化会館)
~ 3日(日)	
12月 4日(水)	第21回SBC杯高等学校新人放送コンテスト応募締め切り
12月14日(土)	第21回SBC杯高等学校新人放送コンテスト(番組部門公開審査)
12月15日(日)	" (アナウンス・朗読部門公開審査)
1月26日(日)	第3回長野県高等学校放送フェスティバル(未定)

8.コンテストについて不明な点、またはコンテスト結果について詳細を知りたい方は下記事務局までご連絡下さい。

〒390-8602 松本市美須々2番1号 長野県松本美須々ヶ丘高等学校内
 長野高視研放送専門委員会事務局 伊藤光宏
 電話(0263)-33-3690, FAX 37-1076
 E-mail lbf@nagano-c.ed.jp

第27回全国高等学校総合文化祭
放送部門参加要領(案)

- 1 目的 (基本方針) 全国の高校生がメディアを用いて自ら制作した作品を発表し感動体験を共有する。
ひとりひとりが美しい日本語を味わい、表現する力を高める。
地域の歴史や文化をたどり、発信しあうことで国内外の高校生との交流を深める。
- 2 日時 平成15年8月11日(月)・12日(火)
9:30~17:30 (予定)
- 3 会場 プラザ萬象
〒914-0047 福井県敦賀市東洋町1番1号
TEL.(0770)22-9711 FAX.(0770)22-9791
- 4 参加資格 全国高等学校総合文化祭開催基準規定第10条に基づき、参加資格を有するものとします。
- 5 部門及び発表者・出品数

(1)	アナウンス部門	3名
(2)	朗読部門	3名
(3)	オーディオピクチャー部門(AP)部門	1作品
(4)	ビデオメッセージ(VM)部門	2作品

開催県については、それぞれの2倍以内とします。

6 発表及び出品基準

(1) アナウンス部門

短歌、詩、俳句などの内容を含んだ話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿を作り、発表してください。スライド(5枚以内)を併用することができます。
発表時間は、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。
BGMは使用できません。

(2) 朗読部門

郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿として下さい。
効果音やBGMを併用することができます。
発表時間は、学校名、氏名、作者名及び作品名を含めて2分以内とします。
スライドは使用できません。

(3) オーディオピクチャー(AP)部門

詩、短歌、俳句などに関連した内容とします。
カセットテープによるステレオ音声とスライド(枚数は自由)を併用する作品とします。
ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。
発表時間は5分以内とします。

(4) ビデオメッセージ(VM)部門

内容、手法は自由とします。
自校オリジナルのビデオ作品とします。
発表時間は5分以内とします。

7 規 格

(1) スライド(アナウンス部門・AP部門)

- ・35ミリ標準マウントを使用するものとします。
- ・映写機はアナウンス部門では1台、AP部門では2台まで使用できます。
- ・映写は、AP部門では発表校が行ってください。
- ・操作はアナウンス部門では台本にしたがって開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。

(2) 音声再生(朗読部門・AP部門)

- ・カセットテープのA面に1作品分を再生順に録音したものとします。
- ・ドルビー等のノイズリダクションは使用できません。
- ・再生は、AP部門は発表校が行ってください。
- ・朗読部門では台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。

(3) ビデオ(VM部門)

- ・ VHS S-VHS DV miniDV (DVは民生用) のいずれかのテープに録画したものとします。
 - ・ テープスピードは、「標準」、「SPモード」とします。「LPモード」は使用しないで下さい。
- い。
- ・ 音声トラックは、VHS S-VHSでは「Hi-Fi」か「ノーマル」のいずれか一方とし、ミックス再生は行いません。
 - ・ DV miniDV (民生用) では【12bit stereo1】【12bit stereo2】【16bit stereo】のいずれか一つとし、ミックス再生は行いません。
 - ・ 作品本編の前後に20秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画してください。
 - ・ 再生は開催県が担当します。

(4) 共通事項

- ・ 上記の「カセットテープ」の代わりに「MD」を使用することもできます。ただしディスクエラーの場合に備え、同じ内容のカセットテープも提出して下さい。
- ・ 著作権は全国高文連の規約に則り、出場各校で所定の手続きをしてください。
- ・ 各部門とも、提出作品はほかのコンクール等に参加していないものとします。

8 発表順

開催県事務局で決定します。

9 審査講評及び表彰

- (1) 審査及び講評を、開催県で委嘱した講師により行います。
- (2) 各部門とも特に優れた発表・作品に優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして表彰に値すると認められた発表・作品に特別賞を授与します。
- (3) 講評会、表彰式は閉会式に先立ってメインホールで行います。

10 リハーサル

AP部門については希望校のみ下記の日程で行います。

- (1) 日時 平成15年8月10日 (日) 9:30~ (予定)
- (2) 場所 プラザ萬象 大ホール

11 作品送付受付期間

下記の期間に各都道府県単位で一括して送付してください。

平成15年 月 日 () ~ 月 日 ()

12 作品返却 発表終了後に部門受付で返却します。

13 交流会 下記のとおり生徒の交流会を行います。

- (1) 期日 平成15年8月11日 (月) ~ 12 (火)
- (2) 会場 プラザ萬象
- (3) 内容 未定

14 顧問会議 下記のとおり顧問会議 (専門部会を兼ねる) を行います。

- (1) 日時 平成15年8月10日 (日) 時間未定
- (2) 場所 未定

15 参加校推薦書の送付

各都道府県の高等学校文化連盟又は教育委員会の指示に従ってください。

16 その他

詳細については、平成15年3月に送付する「参加要項」等でお知らせします。

なお、この参加要領の最終確定は、平成14年8月に行われる(神奈川大会)での顧問会議とします。

17 事務局 福井県実行委員会事務局

〒910 - 8580

福井市大手3丁目17番1号 県教育庁高校教育課総合文化祭準備室

TEL 0776 - 20 - 0572 FAX 0776 - 20 - 0670

18 部門事務局

〒917-0293福井県小浜市金屋48-2 福井県立若狭東高等学校 放送部門担当 清水一広

TEL 0770 - 56 - 0400 Fax0770 - 56 - 3763 E-mail fukui27@anet . ne . jp

第49回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会審査要項

長野県高等学校視聴覚教育研究会放送専門委員会

規定

1. 参加規定および様式規定は校内放送研究No. 127（第49回NHK杯全国高校放送コンテスト要領）によるものとする。

審査会

1. 各部門とも6名以上の審査員で構成し、1名以上は専門職としてNHK職員。残りは教育職として高視研放送専門委員があたる。
2. 審査委員長には高視研放送専門委員長がその任にあたり、各部門の審査会を統括する。
3. 審査委員長の委嘱を受けた各部門審査員の代表は審査会の意見を整理し、審査講評をする。

審査方法

1. 番組部門はテープによる公開審査。研究発表部門は要旨原稿及び発表による公開審査。アナウンス・朗読部門は本人参加の公開審査で行い、いずれもスピーカーからの音声で審査する。
2. 番組部門の審査に当たっては、テープ再生機器レベルは、各作品冒頭部分のナレーションまたはインタビューのレベルを基準レベルとし再生視聴する。

表彰者の選抜

1. 各部門（全部で7部門）の表彰は下記に定める数とする。
「優秀」、「優良」の数は下表による。各部門ごとに「優秀」の中から「最優秀」を1本（計7本）選抜する。また若干本の「奨励賞」を選抜することができる。内容や程度によっては、以上の数を下まわることもある。

部 門	優秀賞	優良賞	奨励賞	全国大会推薦
研究発表部門	2 校	2 校	若干	2 校
アナウンス部門	6 人	6 人	若干	6 名
朗読部門	6 人	6 人	若干	6 名
ラジオドキュメント部門	4 作品	4 作品	若干	4 作品
テレビドキュメント部門	4 作品	4 作品	若干	4 作品
創作ドラマ部門ラジオ	2 作品	2 作品	若干	2 作品
創作ドラマ部門テレビ	2 作品	2 作品	若干	2 作品
合 計	2 6	2 6		2 6

2. 優秀を全国大会の県代表とする。（研究発表・番組部門は1部門1校1作品とする）内容や程度によっては、上表の数を下まわることもやむを得ないが、エントリー枠はできるだけ満たす。
3. 最優秀・優秀・優良の決定は、得点の高得点順による。
4. 同得点の場合は
(1) 専門職点の多い方を上位とする。(2) 高得点をつけた審査員の多い方を上位とする。それでも同得点の場合や、その他の問題点のある場合は全て審査会の合議によって決定する。

失格

1. 様式規定（台本・原稿）や各部門毎の参加（制作）上の注意に反したものは失格とし、審査の対象外とする。

採点・配点・集計

1. 各審査員の独自の判断により採点する。朗読部門、アナウンス部門は、審査の基準となる例（エントリー番号0）を前もって視聴し審査に入る。
2. 集計された得点を基にして審査会として集約し、審査結果にまとめる。
3. 各部門とも別項の審査視点をふまえ1点きざみの100点満点で採点する。
4. 集計にあたっては、審査員ごとに、すべての被審査者（作品）に対する採点を母集団とする偏差値（小数第2位を四捨五入）を算出する。全審査員の最高点、最低点を除いた偏差値を加算したものを得点とし、その得点の平均を算出し、表彰の審査資料とする。

審査基準

【1】研究発表部門

研究発表の持ち時間は8分以内とする。

時計スタートは発表者の第一声からとする。計時終了は、発表者の発表説明の終了の時点とする。8分超過後30秒ごとに満点の5%ずつ減点。9分以上の発表は直ちに中止。準備は前の発表者終了後の撤去を入れて2分以内。

審査の視点と配点

点数は100点法

ア．実践や取り組みの程度（100点）

- a．特に優れている
- b．優れている
- c．普通である
- d．やや劣る
- e．はなはだしく劣る

【2】アナウンス部門

1. 自校ニュースや解説など校内放送に使用する内容とし、原稿は自作したものに限り。
2. エントリー番号、氏名を含め1分10秒以上1分30秒以内でアナウンスする。

審査の視点として

ア．原稿

- (1) 素材の選び方 (2) 文章表現 (3) 内容

イ．アナウンスの技術

- (1) マイクの使い方 (2) 発声 (3) アクセント (4) イントネーション
(5) テンポ (6) ポーズのとり方

【3】朗読部門

1. 指定作品の中から1編を選び、自己の表現したい部分を任意選択の上、規定時間以内で読む。作品の脚色は認めない。
2. エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め1分30秒以上2分以内で朗読する。

審査の視点として

ア．原稿

- (1) 作品の選定 (2) 朗読部門の抽出のしかた (3) 内容

イ．朗読の技術

- (1) マイクの使い方 (2) 発声 (3) 発音 (4) アクセント
(5) イントネーション (6) テンポ (7) ポーズのとり方 (8) 内容の把握
(9) 表現のしかた

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 朗読指定作品 | 1) 「高瀬舟」 森鷗外著（新潮文庫） |
| | 2) 「少年H」 妹尾河童著（新潮文庫） |
| | 3) 「イタリアからの手紙」 塩野七生著（新潮文庫） |
| | 4) 「スタンド・バイ・ミー」 スティーブン・キング著（新潮文庫） |
| | 5) 「土佐日記」 紀貫之著 |

注) () 内出版社に限る。5) は現代語訳不可。1) は指定作品に限る。

アナウンス朗読の配点について

点数は100点法。おおむねア．の項を30%、イ．の項を70%とする。

60点を基準として、上下にプラス・マイナスし、採点する。

【4】ドキュメント・創作ドラマ部門

高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にしたい、独創的な作品であること。

<ドキュメント部門>

1. ラジオドキュメント部門

6分30秒以上7分以内でまとめる。計時は最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。

2. テレビドキュメント部門

7分30秒以上8分以内でまとめる。計時は始めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。

<創作ドラマ部門>

3. 創作ラジオドラマ部門

4. 創作テレビドラマ部門

創作ラジオドラマ部門、創作テレビドラマ部門とも8分以内でまとめる。計時についてはドキュメント部門と同じとする。脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。出演者は自校生徒に限る。

審査の視点と配点

テーマ点50点と、制作技術点50点に分けて配点する。

ア. テーマ点(50点)

テーマを理解し、学校をとりまく素材の中から適切なものを求め、番組内容にテーマを効果的に表現しているか。

- a. テーマをよくとらえ見事に表現している。
- b. テーマにふさわしい
- c. テーマにふさわしいが今一步
- d. テーマからややずれている
- e. テーマにふさわしくない

イ. 制作技術点(50点)

審査の視点として

- (1) 制作の手法
- (2) 取材の方法や努力
- (3) 企画構成
- (4) 演出・編集
- (5) 技術(録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽・効果音の使い方)

- a. 特に優れている
- b. 優れている
- c. 普通である
- d. やや劣る
- e. はなはだしく劣る

第49回 NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会開催要項
(第39回 長野県大会)

1. 主催 長野県高等学校視聴覚教育研究会・全国放送教育研究会連盟・日本放送協会
2. 共催 全国高等学校文化連盟、日本放送教育協会
3. 後援 長野県教育委員会・文部省・全国高等学校長協会・日本私立中学高等学校連合会・日本放送教育協会・NHKサービスセンター・日本放送作家協会
4. 協賛 日本電子機械工業会ほか
5. 目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、高等学校の特色ある教育活動の中核となる校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

6. 日時 平成14年6月8日(土)～9日(日)
 - ・6月8日(土)《公開》番組部門
(受付9:30-10:00 長野市若里市民文化ホール会議室前)
審査 ラジオドキュメント、テレビドキュメント、創作ラジオドラマ、
創作テレビドラマ、研究発表部門
 - ・6月9日(日)《公開》アナウンス・朗読部門
(受付9:00-9:30 長野市若里市民文化ホール会議室前)
審査 アナウンス部門、朗読部門(注意)・作品と台本3部および制作意図を6部は当日受付へ提出(公開審査に当日参加できない学校は作品等を前日までに事務局まで提出すること)

コンテスト優秀賞受賞者(作品)を全国大会へ県代表として推薦する。
全国大会参加費は、県代表となった高校より6/9全日程終了後、集めるので準備しておいて下さい。

アナウンス部門、朗読部門は1名につき4,000円
ドキュメント部門、創作ドラマ部門は1作品につき6,000円
校内放送研究発表会は1作品につき3,000円

7. 会場 長野市若里市民文化ホール(ビッグハット東側)
NHK長野放送局(ビッグハット東側)
JR長野駅善光寺口バス乗り場より
川中島バス「日赤經由松岡行き」にて「ビッグハット停留所」下車
長電バス「保科温泉行き」にて「ビッグハット停留所」下車
8. 参加制限 研究発表は1校1発表、番組部門は制限なし(ただし、全国への推薦は1部門に1校1作品とする。)
アナウンス部門は1校5名以内、朗読部門は1校4名以内
9. 参加費 1作品・1発表・1人当たり高視研加盟校は1,000円
非加盟校は1,500円を当日受付で納入すること。

10. 参加申込みについて

エントリー及び要項制作のために参加申込

- (1)締切 5月29日(水)正午まで(厳守)
- (2)申込方法 下記ホームページ上で申し込みを行ってください。
(もしホームページ上での申込が不可の場合、同封の申込書をFAXで下記宛まで送ってください)
- (3)受付完了の場合、事務局よりFAXで受付内容をFAXします。確認ください。
- (4)受付完了のFAXが届かない場合、下記事務局まで必ずお問い合わせください。
正式の参加申込書はコンテスト当日、校長捺印のものを受付にご提出下さい。

1.1. 提出物 参加部門により以下のものを当日受付へ提出すること

参加申込書（校長印捺印の物）

アナウンス・朗読原稿 3部

番組の台本 3部，制作意図 6部、作品テープ等

研究発表の要旨 6部

録音使用明細書および使用料（著作物を使用する場合）

（注意）書式・規格は『校内放送研究 No.127』（4月当初各校へ発送済み）

を熟読すること。特に著作権については、p.9～11を熟読し、JASRAC管理の楽曲を使用する場合は「録音使用著作物明細書」（ラジオ番組）、「ビデオグラム録音使用明細書」（テレビ番組）と使用料を県大会の時に提出して下さい。なお、明細書は長野県高視研放送専門委員会事務局にありますので早めにお問い合わせ下さい。

アナウンス・朗読用の原稿用紙、台本、テープのケース等の様式は『校内放送研究 No.127』P.8をよく読んで作成してください。

1.2. 参加申込書Fax送付先

第49回NHK杯全国高校放送コンテスト長野県大会事務局

飯山照丘高等学校 宮崎 潤宛

電話0269-65-4954(直通)

Fax 0269-65-1806

申し込み等ホームページ www.suzaka-h.ed.jp/ncon

1.3. 審査員 NHK長野放送局職員・長野高視研放送専門委員（当日発表）

1.4. 諸注意

(1) 規定については『校内放送研究 No.127』を熟読し、規格違反をしないこと。

(当コンテスト入賞者・作品は、7月23日～25日にオリンピックセンター、東京NHKホール等で開かれる全国大会に県代表として推薦する。)

昨年からの主な変更点

- ・VHS（標準モード）で、音声はHi-Fiのみとする。テープはVHSテープにVHSで録画する。
- ・テストパターンは様式3を必ず使用する。
- ・最後にクレジットタイトルを必ず入れる。
- ・校内放送研究発表はコンピューターによるプレゼンテーションでの発表。データは1枚のフロッピーに収まるようにする。

その他のことについては、校内放送研究をご覧下さい。

(2) 同一校の参加者が同一原稿を使用したり、当コンテストや他のコンクール等に発表した作品・原稿を発表した場合は失格とする。

(3) 受付時間に遅れないこと。

(4) 昼休みが短く近くに食堂がないので、昼食は持参すること。

(5) 毎年、規格違反や時間オーバーがあるので注意のこと。朗読部門は原稿の右下に指定作品本文のページを記入すること。

・コンテストについて不明な点は下記事務局までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

松本美須ヶヶ丘高校 電話 0263-33-3690

長野高視研放送専門委員会事務局 伊藤光宏

(例年NHK長野放送局へ直接問い合わせる学校がありますが、問い合わせ先は上記になりますので間違えないようにしてください)